

マルチプロトコル・スイッチ・サービス (MSS) サーバー



導入と初期構成の手引き

マルチプロトコル・スイッチ・サービス (MSS) サーバー



導入と初期構成の手引き

お願い

本書および本書がサポートする製品をご使用になる前に、付録B. 特記事項 の一般的な情報を必ずお読みください。

第 4 版 (1999 年 3 月)

この版は、MSS サーバー のバージョン 2.2 に適用されます。

原 典： GA27-4140-03
Multiprotocol Switched Services (MSS) Server
Installation and Initial Configuration Guide

発 行： 日本アイ・ビー・エム株式会社

担 当： ナショナル・ランゲージ・サポート

第1刷 1999.4

この文書では、平成明朝体™W3、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、平成角ゴシック体™W5、および平成角ゴシック体™W7を使用しています。この(書体*)は、(財)日本規格協会と使用契約を締結し使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

注* 平成明朝体™W3、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、
平成角ゴシック体™W5、平成角ゴシック体™W7

© Copyright International Business Machines Corporation 1996, 1999. All rights reserved.

Translation: © Copyright IBM Japan 1999

目次

本書について	v
本書の対象読者	v
作業の進め方	v
MSS サーバー・ライブラリーの概要	vi
MSS サーバー ソフトコピー・ライブラリーへのアクセス方法	vii
Web サイトへのアクセス方法	viii
情報の更新および訂正	viii
オンライン・サポート	viii
変更の要約	viii
第1章 MSS サーバーの導入	1
作業を始める前に	1
ケーブル配線	1
ラック収納	1
第2章 問題解決	11
第3章 MSS サーバーへのアクセス方法	13
接続方式	13
TTY 接続	13
ローカルおよびリモートのコンソール・アクセス	15
シリアル・ポートについてのデフォルト設定	15
PCMCIA モデム についてのデフォルト設定	15
SLIP 接続	16
イーサネット接続	16
ATM ネットワーク接続	17
第4章 MSS サーバーの初期構成の実行	19
デフォルト構成を使用する時期	19
デフォルト構成のパラメーター	19
初期構成を実行する時期	22
初期 (クイック) 構成の実行	22
全機能構成	25
付録A. 共通作業	27
コマンド行インターフェース	27
アクティブなハードウェア・インターフェースのリストの表示	27
インターフェースの作動可能状態の表示	27
接続の検査	27
重要ソフトウェア・データの表示	28
重要ハードウェア・データの表示	28
クイック構成の実行	28
アダプターの追加	28
初期構成後の、アダプターの追加	29
アダプター・ポートの使用不能化	29
アダプター・ポートの使用可能化	30
トラフィックを中断するための、アダプター・ポートの使用不能化	30
トラフィックを再開するための、アダプター・ポートの使用可能化	30
構成からのアダプターの削除	31
最新の MSS サーバー情報	31

付録B. 特記事項	33
本書のオンライン・バージョンのご使用条件	33
情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) 表示	33
商標	34
付録C. 安全に関する注意事項	35
安全上の注意	35
電源の切断	35
バッテリーの交換	35
クラス 1 LED ステートメント	35
クラス 1 レーザー・ステートメント	36
リチウム電池ステートメント	36
索引	37

本書について

本書では、8210 Nways MSS サーバーモデル 003 (8210-003) のセットアップ方法、さらに導入時に発生する可能性のあるいくつかの問題を識別し、訂正する方法について説明します。

本書の対象読者

本書は、8210-003の導入を担当する方を対象としています。この担当者は、設置図およびケーブル配線図に精通していらっしゃるものと想定しています。

作業の進め方

以下のステップは、8210-003の設置方法を説明しています。8210-003を導入し、接続し、構成するために必要になるネットワーク情報をすべて文書化する必要があります。

導入

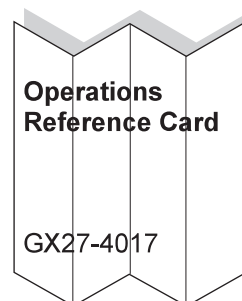
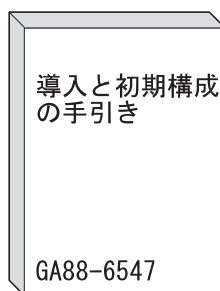
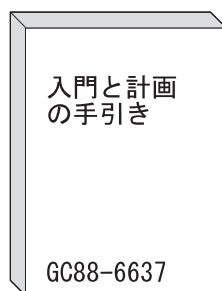
1. 8210-003を導入します。第1章 MSS サーバーの導入で、ハードウェアの設置手順について説明しています。別の方法として、IBM サービス要員による導入をご利用いただけます。IBM 担当者にご連絡ください。
2. ネットワーク管理者に連絡して、デフォルト構成を使用できるかどうか、初期構成を実行する必要があるかどうかを判別します。ネットワーク管理者がデフォルト構成 (19ページの『デフォルト構成を使用する時期』を参照) を使用するよう希望している場合には、導入および初期構成の作業は完了しています。そうでない場合は、初期構成を実行する必要があります。

初期構成

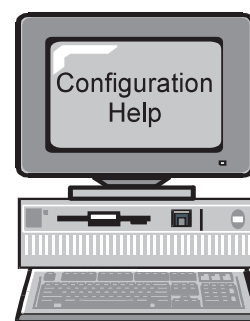
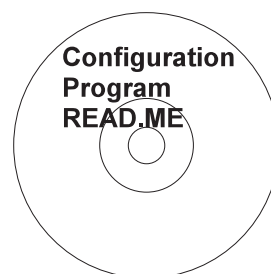
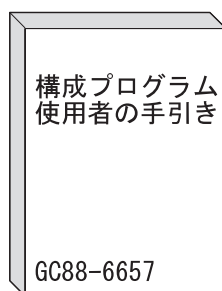
1. 第3章 MSS サーバーへのアクセス方法に記載されているとおりに、8210-003にアクセスします。
2. 第4章 MSS サーバーの初期構成の実行に指示されているとおりに初期構成を実行します。
3. ネットワーク管理者に連絡して、全機能構成を実行し、8210-003と共にソフトコピーで提供されるMSS サーバー インターフェース構成とソフトウェア 使用者の手引き および MSS プロトコルの構成と監視解説書 を参照します。

MSS サーバー・ライブラリーの概要

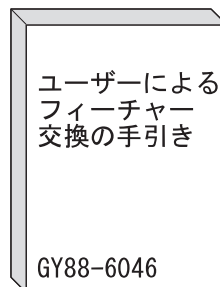
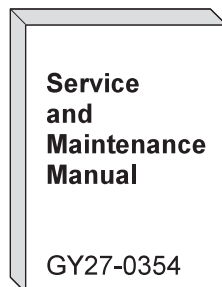
計画と導入



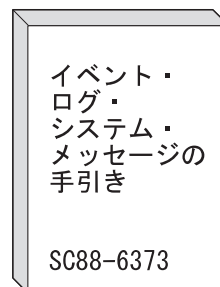
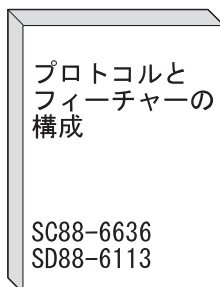
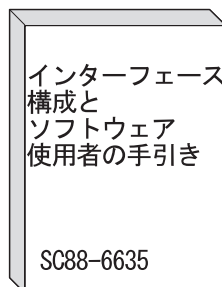
構成



診断/保守



運用とネットワーク



以下の IBM ハードコピー資料（英語版のみ）が製品と共に出荷されます。また、このリストにある資料は、表示可能なソフトコピーの形式で MSS ソフトコピー・ライブラリー CD-ROM (LK2T-0378) に収められています。この CD-ROM は、8210-003 の初期受注品目と共に出荷されます。

リファレンス・カードおよび安全情報のブックレットは、ハードコピーでのみ出荷され、CD-ROM には収められていません。

- *MSS Server Installation and Initial Configuration Guide* GA27-4140
- *8210 Nways MSS Server Operations Reference Card*, GX27-4017
- *8210 Nways MSS Server User's Feature Removal and Replacement Guide*, GY27-0359
- *Caution: Safety Information - Read This First*, SD21-0030

以下の資料（英語版のみ）は、ハードコピーで出荷されるのではなく、ソフトコピーの形式で MSS ソフトコピー・ライブラリー CD-ROM で提供されます。これらの資料はすべて IBM 営業担当員を通じて別途にオーダーしていただければ、日本語版（可能な場合）をハードコピーで提供できます。

- *MSS Server Introduction and Planning Guide*, GC30-3820
- *MSS Server Service and Maintenance Manual* GY27-0354
- *MSS Server Interface Configuration and Software User's Guide*, SC30-3818
- *MSS Configuring Protocols and Features, Volume 1*, SC30-3819
- *MSS Configuring Protocols and Features, Volume 2*, SC30-3994
- *Configuration Program User's Guide for Nways Multiprotocol Access, Routing and Switched Services*, GC30-3830
- *Event Logging System Messages Guide*, SC30-3682

MSS サーバー ソフトコピー・ライブラリーへのアクセス方法

重要: ソフトコピー MSS サーバー資料をを CD-ROM から直接読むか、それとも個別のブックをハード・ディスクにコピーするかを選択する場合でも、最初に Library Reader プログラム (CD-ROM に入っています) をワークステーションに導入して、資料を見ることができるようにする必要があります。あるいは、Web ブラウザーを使用して PDF ファイルを見ることができます。

MSSサーバー ソフトコピー・ライブラリー (CD-ROM に収められています) では、Library Reader の導入方法と、DOS、Windows、または OS/2 を実行するパーソナル・コンピュータや PS/2 コンピューターからソフトコピー資料にアクセスする方法を説明しています。

詳細については、CD-ROM に収められている *Online Reference Library* を参照してください。

Web サイトへのアクセス方法

弊社の Web サイトにアクセスすることにより、MSS サーバー用の最新の情報およびサポートを入手することができます。

情報の更新および訂正

資料が印刷された後にインプリメントされた技術変更、説明、および修正についての情報を把握しておくためには、次のアドレスで IBM MSS サーバーのホーム・ページを参照してください。

<http://www.networking.ibm.com/820/820prod.html>

オンライン・サポート

技術上のアドバイスを含むサポート情報、現在の製品情報、および MSS サーバー用のコード更新と修正を取得するには、以下のアドレスで IBM Networking Tech Support (IBM ネットワーキング技術サポート) のページを参照してください。

<http://www.networking.ibm.com/netsupt.html>

変更の要約

本書は、以下の変更および機能強化を含めるために改訂されました。

- 233-MHz 740 PowerPC プロセッサ
- ATM アダプターが、新しい拡張 ATM アダプターに変わりました

技術変更と追加が行われた箇所については、変更箇所の左側に縦線 (|) を付けて示してあります。

パッケージ・フィーチャーおよびその他のフィーチャーはすべて、前のリリースのものと同じです。

第1章 MSS サーバーの導入

以下の手順は、8210 Nways MSS サーバー モデル 003 (8210-003) のラック収納方法または平面設置方法、ケーブルの接続方法、ハードウェアが正しく作動するかどうかの確認方法を説明します。

セットアップ中になにか問題がある場合は、第2章 問題解決を参照してください。

作業を始める前に

作業を始める前に、8210-003 のケーブル配線およびラック収納に関する以下の要件を承知しておく必要があります。

ケーブル配線

ATM アダプター・ケーブルまたは FDDI アダプター・ケーブルは付属しておらず、別途購入する必要があります。ケーブルは IBM 営業担当員を通じて発注できます。

ラック収納

ラックに収納することを選択した場合は、ラックを用意する必要があります。ラックは 8210-003 と共に提供されるわけではないからです。

EIA 標準 19 インチのラックを使用することができます。ラックは開いていても閉じていてもかまいません。ただし、閉じたラックを選択した場合は、8210-003 を通って十分な空気が流れるか確認する必要があります。ラックの前面にかかっているカバーのために 8210-003 まで空気が到達しない場合には、空気が通るように、このカバーを取り外すか、一部変更する必要があります。同様に、空気が 8210-003 から出ていかないようにしたり、複数のマシンからの背圧が蓄積する原因となるような通気口のないラック後部カバーは使用しないでください。

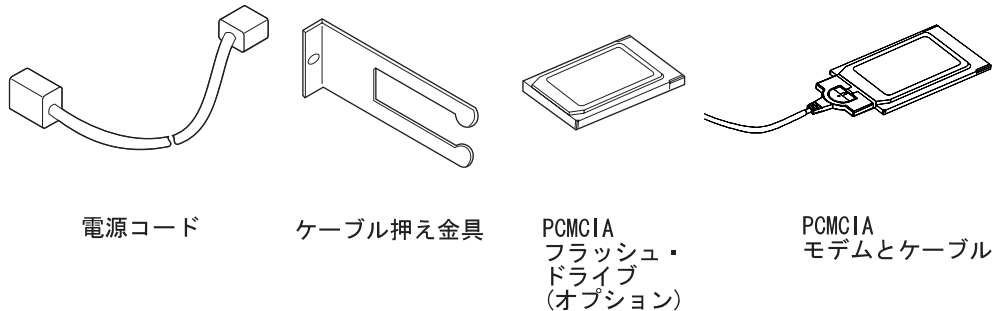
1. 内容物を確認する

以下の品目が 8210-003 に付属しているか確認してください。

ハードウェア

アダプター (1 つまたは 2 つ)(発注どおり)

- 155-Mbps ATM アダプター、多重モード
- 155-Mbps ATM アダプター、単一モード
- デュアル・リング光ファイバー FDDI アダプター



電源コード

ケーブル押え金具

PCMCIA
フラッシュ・
ドライブ
(オプション)

PCMCIA
モデムとケーブル

いずれかの品目が不足あるいは損傷している場合は、営業担当員にご連絡ください。

資料

パッケージには、本書のほかに、以下の資料が付属しているはずですが。

- *MSS Server Operations Reference Card, GX27-4017*
- *8210 Nways MSS Server User's Feature Removal and Replacement Guide, GY27-0359*
- MSS ソフトコピー・ライブラリー (CD-ROM で提供)
- *Caution: Safety Information-Read This First, SD21-0030*

上記資料のほかに、資料の印刷時に間に合わなかった変更について記載しているリリース情報が入っている場合があります。

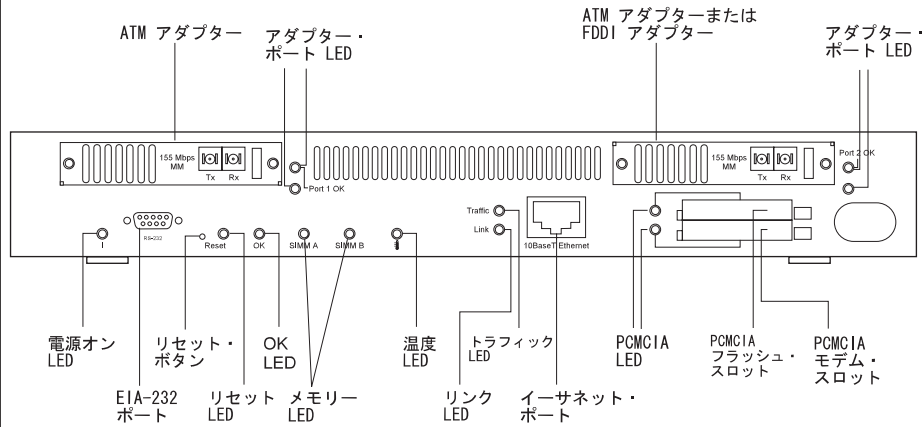
ソフトウェア

- 構成ツール・プログラム パッケージ (CD-ROM で提供)

以下のものも必要です

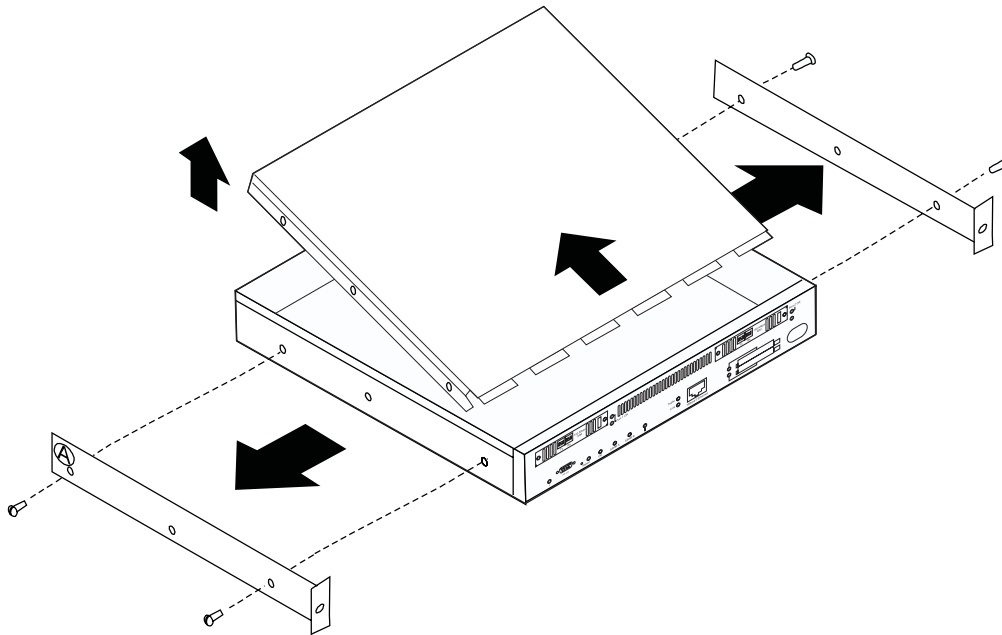
- 各アダプターごとにアダプター・ケーブル 1 本 (別途購入していただくものですので、この出荷内容には含まれていません)
- ネットワーク管理者からのラック構成図およびケーブル配線図

2. フロント・パネルを覚える



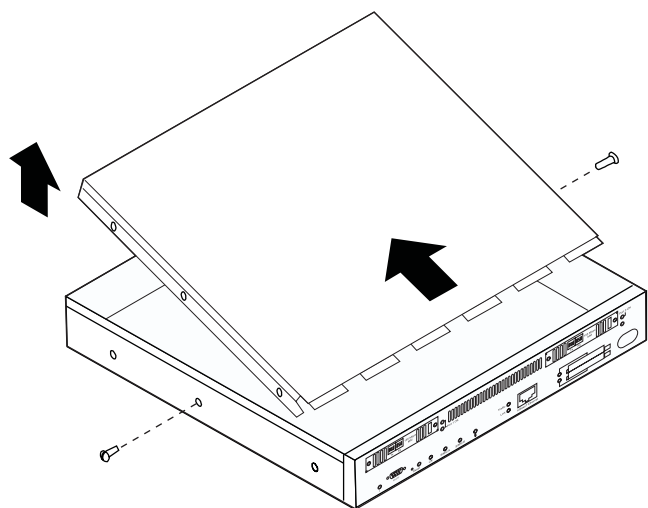
重要: 8210-003 の導入を始める前に、付録C. 安全に関する注意事項をお読みください。

3. 取り付け金具を取り外す



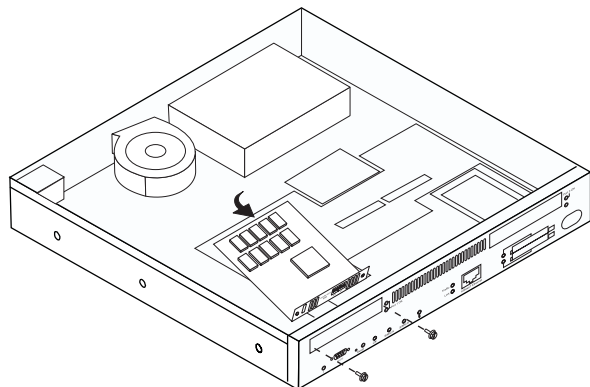
8210-003 の両側に付いている 2 本のねじを外します。側面の取り付け金具を 8210-003 の側面から取り外し、他所に置いておきます。

4. トップ・カバーを取り外す



8210-003 の両側に付いている中央のねじを外します。トップ・カバーの後方の縁を持ち上げ、8210-003 の後部まで引いて、トップ・カバーの、8210-003 の前面にかみ合っているタブを外します。トップ・カバーの後部を持ち上げ、引き上げて、8210-003 の前面から外します。

5. ATM アダプターをスロット 1 に取り付ける



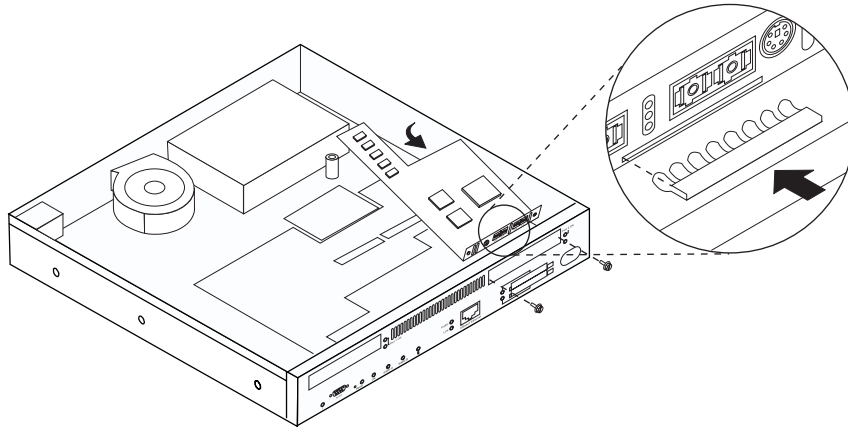
注: ポート 1 (左側のスロット) には ATM アダプターしか取り付けられません。

アダプターの後方の縁を保持しながら、8210-003 シャシの前面の内側に縦方向に配置し、ポート 1 の開口部の位置に合わせます。

アダプターの後部をシャシの底面の方向へゆっくり回転させて、エッジ・タブを PCI 論理カードのコネクターの位置に合わせます。慎重にエッジ・タブを PCI 論理カード・コネクター内に収めます。

アダプター・フェース・プレートに 2 本の平頭ねじを取り付けます。

6. ATM または FDDI アダプターをスロット 2 に取り付ける



注: ポート 2 (右側のスロット) には FDDI アダプターおよび ATM アダプターを取り付けることができます。これは、FDDI アダプターを取り付けられる唯一のスロットです。

空のアダプター・フェース・プレート (8210-003) の前面から取り外します。空のフェース・プレートの底面から銅色のアース・クリップを取り外し、それを、アダプターの後部の方向に指が向くようにしてアダプターのフェース・プレートの底面に取り付けます。

FDDI アダプターを取り付ける場合は、4-mm のナット・ドライバーを使って、シャーシの底面と電源機構の前面に絶縁体を固定しているねじを取り外します。このねじは保管しておいてください。

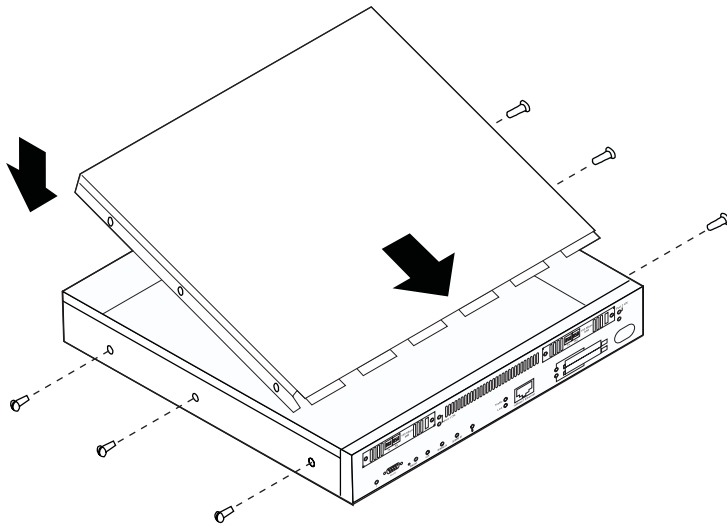
アダプターの後方の縁を持って、フェース・プレートを PCMCIA コネクタの上部に置いた状態で 8210-003 シャーシの前面の内側に縦方向に配置します。

アダプターの後部をシャーシの底面の方向へゆっくり回転させて、エッジ・タブを PCI 論理カードのコネクタの位置に合わせます。慎重にエッジ・タブを PCI 論理カード・コネクタ内に収めます。

FDDI アダプターを取り付ける場合は、4-mm のナット・ドライバーを使ってねじを取り付け、アダプターの後部を絶縁体に固定します。

アダプター・フェース・プレートに 2 本の平頭ねじを取り付けます。

7. トップ・カバーを元どおりに取り付ける

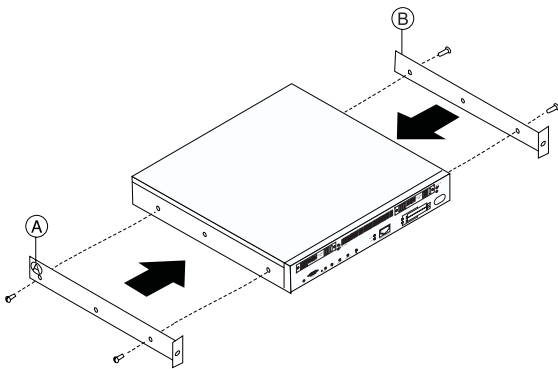


トップ・カバー・タブを 8210-003 の前面の内側にあるスロットの位置に合わせ、タブがスロットにかみ合うまでトップ・カバーを前方にスライドさせます。

8210-003 を平面に設置する場合には、8210-003 の両側にある 3 本のねじを元どおりに取り付けて、ステップ 10 に進みます。

8210-003 をラック収納する場合は、中央のねじだけを元どおりに取り付けて、ステップ 8 に進みます。

8. 取り付け金具を適切な位置に取り付ける

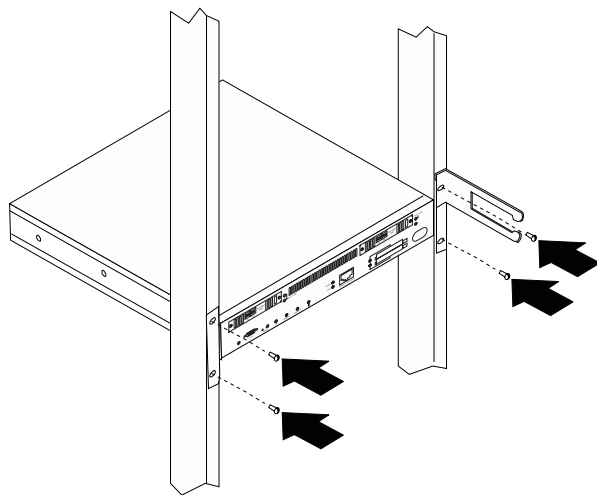


ラック取り付け金具を固定している 4 本のねじ (両側に 2 本ずつ) を取り外します。

注: 中央のねじは取り外さないでください。このねじは、カバーを固定しているものです。

各ラック取り付け金具には A または B のラベルが付いています。この英字は、取り付け金具を取り外して、裏返すと見えます。取り付け金具を裏返して、図に示されているとおりに付け直します。

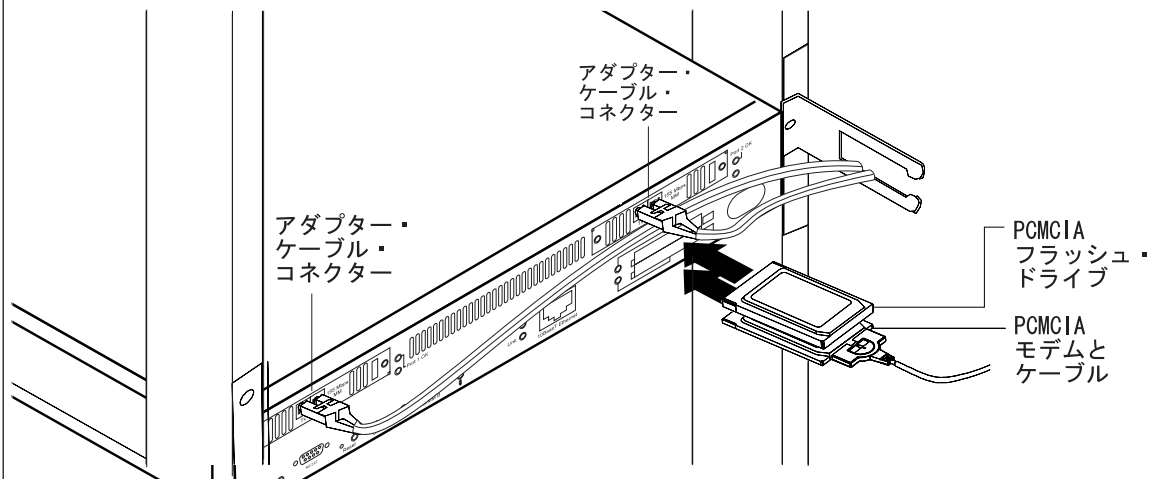
9. ユニットをラックに取り付ける



ネットワーク管理者から渡されたラック構成図を使用して、ラック内の 8210-003 を取り付け場所を確認します。

ユニットをラック内の適切な場所に取り付け、取り付け金具またはラックねじを締めます。

10. PCMCIA 装置を取り付け、ケーブルを接続する



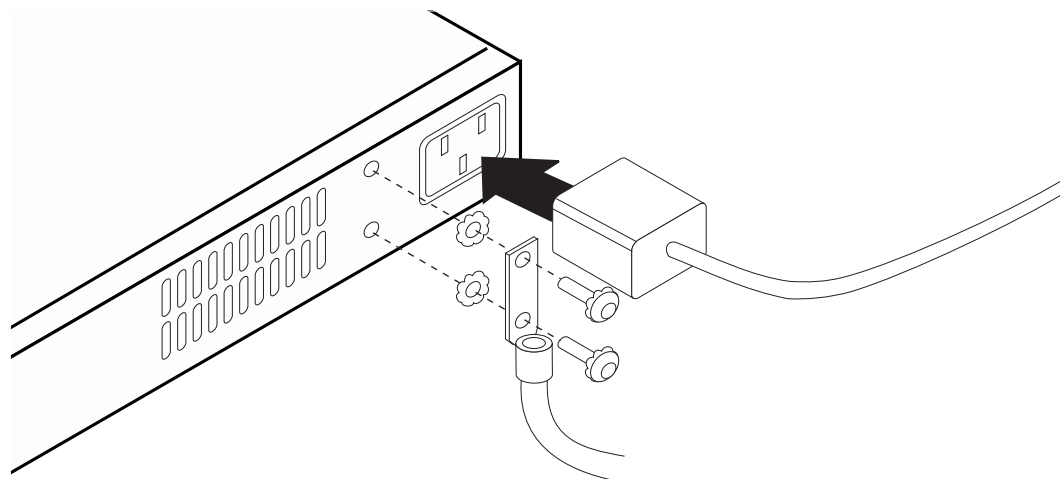
注: 以下の手順に従って正しく取り付けると、電磁気妨害規定に準拠した状態になります。詳しくは、付録B. 特記事項を参照してください。

PCMCIA モデムを下部の PCMCIA スロットに取り付けて、スロット内に正しく収まっているか確認します。モデム・ケーブルを取り付けて、ケーブル押さえ金具を通します。

PCMCIA フラッシュ・ドライブを上部の PCMCIA スロットに取り付けて、スロット内に正しく収まっているか確認します。

アダプター・ケーブルを対応するアダプター・ポートに接続して、ケーブル押さえ金具を通します。

11. ユニットへ電力供給し、ユニットが正しく動作するか検査する



フレーム・アースを取り付けたい場合は、2本のねじと、ユニットの後部にある AC 電源コード・プラグの横にある止め座金を取り外します。各ねじを、最初にアース線の端子またはアース線に通し、次に止め座金に通します。付加された止め座金とアース線と一緒に、2本のねじをシャーシに付け直します。

注: リストされている 2 つ穴の圧縮端子をアース線の端子として使用して、アース線をシャーシに接続するようお勧めします。

電源コードを、ユニットの後部にある AC 電源差し込み口に接続します。

重要: 電源コードを接続する前に、35ページの『電源の切断』をお読みください。

電源コードを電源に接続し、1分間待ってから、次のことを検査してください。

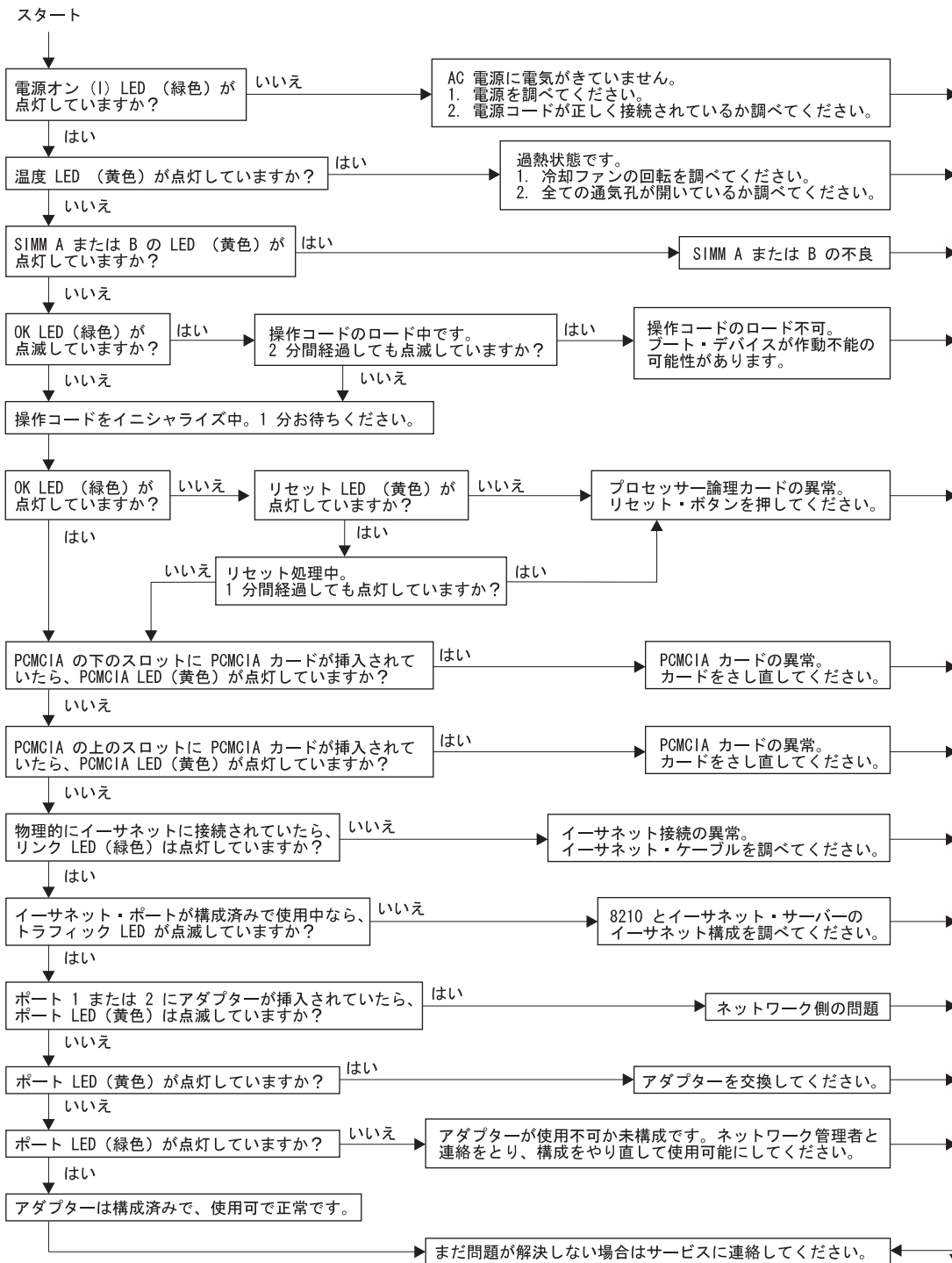
- | というラベルの付いた電源オン LED (EIA-232 コネクターの左にあります) がオン (緑色) になります。
- OK LED がオン (緑色) になります。

LED が上記説明のとおりにはオンにならない場合は、第2章 問題解決を参照してください。

<p>12. 情報を記録する</p> <p>ケーブル配線図およびユニット・ラベルからの関連情報を折り畳み式参照カードに転記して、安全な場所に保管してください。</p> <p>ハードウェアの設置は、これで終わりです。</p>	<p>13. ネットワーク管理者に連絡する</p> <p>ネットワーク管理者に、8210-003 の設置が完了し、正しく動作していることを知らせます。ネットワーク管理者に、8210-003 内のモデムのアクセス番号を伝えます。</p> <p>8210-003 は、設置後、完全に作動可能になるように構成する必要があります。8210-003 は、19ページの『デフォルト構成を使用する時期』に記載されているとおり、リモートで構成できるようにするデフォルト構成が標準装備されています。</p> <p>たいていの場合、ネットワーク管理者は、ユーザーが(全機能)構成を実行する際にこのデフォルト構成を使用することを望みません。ネットワーク管理者は、最初にローカル構成コンソール(第3章 MSS サーバーへのアクセス方法を参照)をセットアップしてから、初期(クイック)構成(第4章 MSS サーバーの初期構成の実行を参照)を実行するよう望みます。</p> <p>初期構成が済んだら、ネットワーク管理者に、だれが全機能構成を実行できるのか尋ねてください。</p> <p>ハードウェアの設置と初期構成は、これで終わりです。</p>
--	---

第2章 問題解決

セットアップ時に発生した問題を識別して、訂正するには、以下の図を参照してください。



第3章 MSS サーバーへのアクセス方法

この章では、8210-003 へアクセスするための方式について説明します。

接続方式

8210-003 に接続する方式には、次の 4 種類があります。

- テレタイプ (TTY) 接続
- シリアル・ライン IP (SLIP) 接続
- イーサネット接続
- ATM ネットワーク

TTY、SLIP、および イーサネットは、アウト・オブ・バンド 接続とみなされます。アウト・オブ・バンド接続は、ATM ネットワークが作動可能でない場合、あるいは 8210-003 がまだ構成されていない場合に必ず採用されます。したがって、初期 (クイック) 構成を実行している場合には、アウト・オブ・バンド方式 (通常、TTY) を使用してください。

ATM ネットワークを介した接続が インバンド です。インバンド接続には、8210-003 の ATM ネットワーク接続機構を介した IP 接続が必要です。インバンド IP 接続を使用可能にするには、ご使用のワークステーションで以下の接続方式のいずれかを構成する必要があります。

- クラシカル IP クライアントまたはサーバー
- IP アドレスが割り当てられている LAN エミュレーション・クライアント
- IP ホスト・サービス

注: 8210-003 には、クラシカル IP を実行しているワークステーションから 8210-003 へのインバンド・アクセスができるようにするデフォルト構成が標準装備されています。デフォルト構成を使ってネットワークに 8210-003 を導入する際には、注意が必要です。デフォルト構成について詳しくは、19ページの『デフォルト構成を使用する時期』を参照してください。

インバンド接続およびアウト・オブ・バンド接続については、以下の節で詳しく説明します。

TTY 接続

この方式の場合には、次の 3 種類の代替接続があります。

- EIA-232 サービス・ポート (14ページの図1 を参照) に接続されたヌル・モデム・ケーブルを介したローカル接続
- EIA-232 サービス・ポート (14ページの図2 を参照) に接続されたモデムを介したリモート接続
- PCMCIA モデム、音声/データ/ファックス PCMCIA モデム、または データ/ファックス PCMCIA モデム (15ページの図3 を参照) を介したリモート接続

リモート接続とローカル接続の両方を設定することができますが、どの時点でも、アクティブになれるのはどちらか一方だけです。例えば、ワークステーションが EIA-232 サービス・ポートにローカルで接続されており、音声/データ/ファックス PCMCIA モデムまたはデータ/ファックス PCMCIA モデムを介してコールが着信した場合には、そのコールの方に優先順位が与えられます。ワークステーションは、そのコールの後で、8210-003 にログインし直す必要があります。

ローカル接続でも、リモート接続でも、設定するには、端末エミュレーションおよびファイル転送を可能にする通信機能を使用する必要があります。8210-003 へのローカル・アクセスまたはリモート・アクセスは、接続が設定された後で使用し続けることができます。

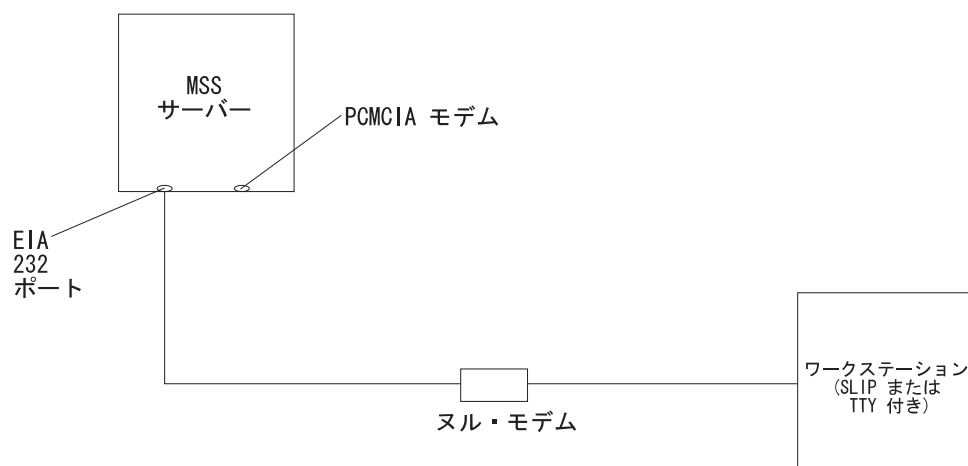


図 1. EIA-232 ポートへのローカル・シリアル接続

注: ヌル・モデム・ケーブルについてのピン割り当てについては、第 3 章、MSS サーバー 入門と計画の手引きを参照してください。

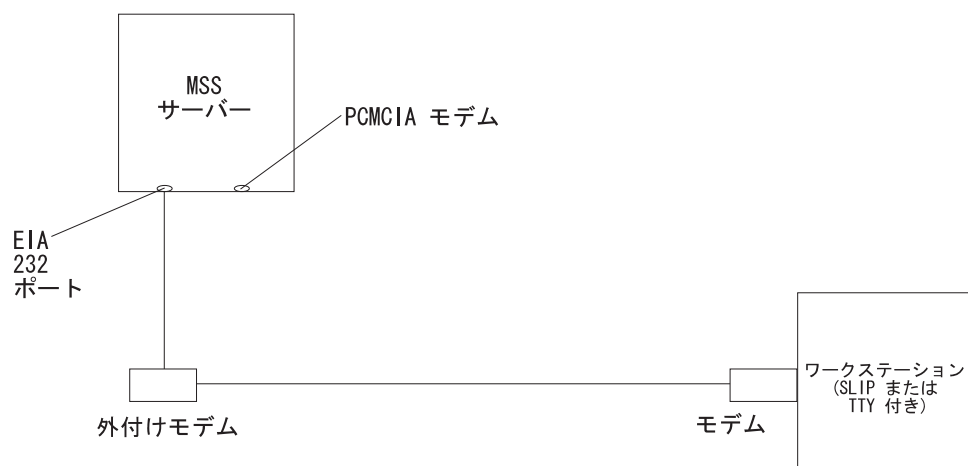


図 2. EIA-232 ポートへのリモート・シリアル接続

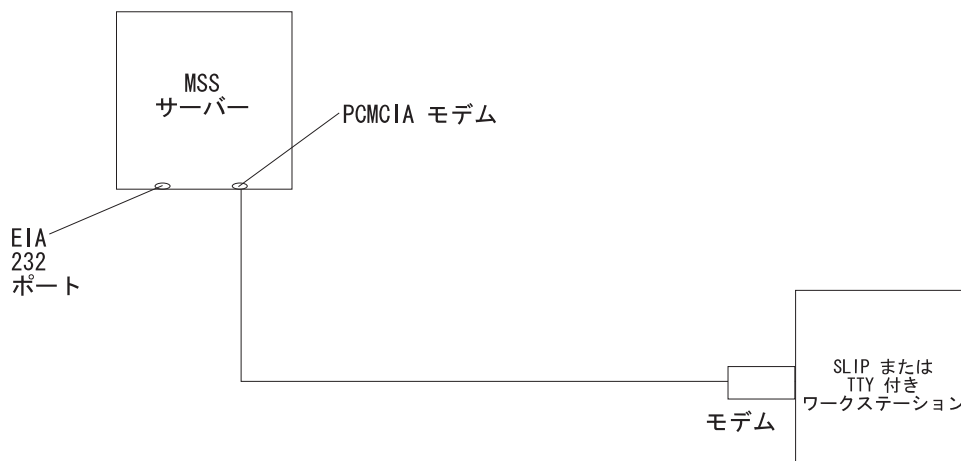


図3. PCMCIA モデム (音声/データ/ファックス PCMCIA モデム または データ/ファックス PCMCIA モデム) へのリモート・シリアル接続

ローカルおよびリモートのコンソール・アクセス

8210-003 に EIA-232 サービス・ポートに接続されたヌル・モデム・ケーブルでローカルでアクセスしたり、PCMCIA モデムを介してリモートで接続する際には、VT220 または VT100 端末エミュレーションを使用します。VT100 は F4 より上の機能キーを定義しないため、VT100 を使用する場合は、以下のように端末エミュレーションについてキーボード・マッピングを編集してください。

- キー定義 F6 については、マッピング (ESC)OU を入力します。
- キー定義 F9 については、マッピング (ESC) (左大括弧)009q を入力します。

注: (ESC) は、脱字記号の後に左大括弧が続いたものを表します。

シリアル・ポートについてのデフォルト設定

シリアル・ポートのデフォルト設定は、以下のものです。

速度	19.2 Kbps
パリティ	なし
データ・ビット	8
ストップ・ビット	1

8210-003 オペレーショナル・コードがロードされると、シリアル・ポートの回線速度は、自動的に 19.2 Kbps に設定されます。

PCMCIA モデム についてのデフォルト設定

PCMCIA モデムは、28.8-Kbps V.32 bis または 56-Kbps V.90 bis どちらかのモデムです。このモデムは、自動検出のデフォルト速度でセットアップされます。

注: 本書の発行時点では、8210-003 に、まだ 28.8-Kbps V.32 bis モデムが標準装備されています。

PCMCIA モデムのデフォルト設定は、以下のものです。

速度	自動検出
パリティ	なし
データ・ビット	8
ストップ・ビット	1

SLIP 接続

13ページの『TTY 接続』で説明されているローカル接続またはリモート接続を通じて、TTY 接続の代わりに SLIP プロトコルを使用するよう選択できます。SLIP を使用するには、8210-003 に接続するワークステーション上に TCP/IP が必要です。

SLIP を構成するには、以下のアドレスを使用します。

8210-003 のデフォルト SLIP アドレス

10.1.1.2

ワークステーションのデフォルト IP アドレス

10.1.1.3

SLIP の導入に関する手順については、ご使用の TCP/IP のバージョンのための資料を参照してください。

イーサネット接続

イーサネット・サービス・ポートに接続されている 10BASE-T イーサネット・ケーブルにより、Telnet (図4 を参照) を使用できます。Telnet を使用するには、8210-003 に接続するワークステーション上に TCP/IP が必要です。

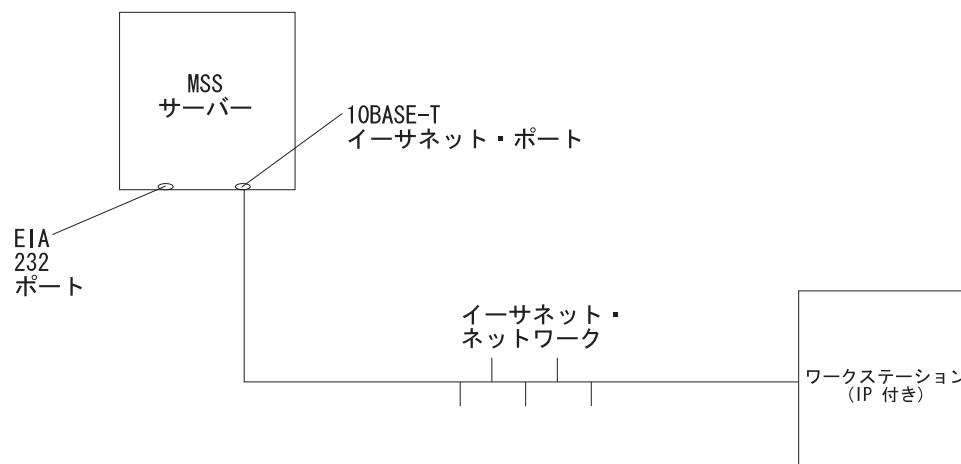


図4. イーサネット・ポートを介して IP を使用する接続

イーサネット接続を介して Telnet を使用するには、以下のアドレスを使用してください。

8210-003 のデフォルト IP アドレス

10.1.2.2

ワークステーションおよびゲートウェイのデフォルト IP アドレス

10.1.2.3

8210-003 のデフォルト・サブネット・マスク

255.255.255.0

イーサネットを介した Telnet の使用方法に関する手順については、ご使用の TCP/IP のバージョンのための資料を参照してください。

上記のデフォルト IP アドレスを変更する必要がある場合には、*MSS サーバー インターフェイス構成とソフトウェア使用者の手引き* のファームウェアの節を参照してください。

ATM ネットワーク接続

図5 は、ATM ネットワークを介したインバンド接続を示しています。この接続を使用するためには、8210-003 またはモジュールがネットワーク内で作動可能になっている必要があります。

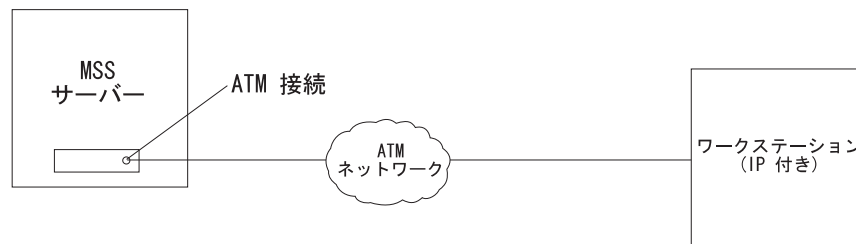


図5. ATM ネットワークを介して IP を使用する接続 (8210-003 付きで示されています)

ATM ネットワークを介して 8210-003 にアクセスできるのは、そのサーバーが完全に構成済みになった後か、あるいはデフォルト構成を使用した場合に限られます。したがって、初期 (クイック) 構成の場合には、通常、この章の冒頭で述べられている 3 種類の接続方式 (TTY、SLIP、またはイーサネット) のいずれかを使用します。初期構成の詳細については、第4章 *MSS サーバーの初期構成の実行* を参照してください。

初期構成を完了したら、8210-003 を再ロードして、構成を活動化する必要があります。この再ロード後、8210-003 は、ネットワーク内で作動可能になるので、LAN エミュレーションまたはクラシカル IP クライアントを通じてアクセスできるようになります。

第4章 MSS サーバーの初期構成の実行

この章では、デフォルト構成、8210-003 がネットワークと通信できるようにするために初期 (クイック) 構成を実行する時期とその方法について説明し、さらに 8210-003 の全機能構成について解説します。

デフォルト構成を使用する時期

8210-003 をリモートで構成するには、8210-003 に標準装備されているデフォルト構成を使用します。デフォルト構成は、ユーザーがご自分のネットワークに合った構成を 8210-003 にダウンロードできるようにするためのものです。デフォルト構成により、Telnet、Telnet を通じたコマンド行インターフェース、または Web ブラウザー・インターフェースを介して構成プログラムを使用してネットワーク内のクラシカル IP ワークステーションからリモートで 8210-003 を構成することができます。

注:

1. デフォルト構成は、通常の操作用のものではありません。
2. 8210-003 をデフォルト構成を使ってネットワーク内に導入しようとしており、デフォルト構成がネットワーク内の他の装置と競合する (例えば、別の装置の IP アドレスまたは ATM アドレスを使用するなど) 場合は、13ページの『接続方式』に記載されているアウト・オブ・バンド接続方式のいずれかを使用する必要があります。
3. デフォルト構成を使用して、8210-003 を一度に 1 つずつ接続して構成します。デフォルト構成を使用して、複数の 8210-003 を同時にネットワークに接続した場合には、競合が発生します。

接続は、適切な ELAN に接続された LAN スイッチを通じて、SLIP 接続を使用するシリアル・ポートを通じて、固有な ATM 接続機構を介したクラシカル IP を使用して、あるいは、接続後にはイーサネット・アダプターを使用して達成できます。

デフォルト構成のパラメーター

以下の節では、デフォルト構成のパラメーターをリストしています。

LECS - 一般パラメーター

パラメーター	値
ATM Device	0
ESI	4000 8210 0001
Selector	00

LECS - 割り当てポリシー

パラメーター	値
Priority	10 または 20
Policy (優先順位 10)	ELAN 名で

Policy (優先順位 20) LAN タイプで

信号プロトコル

パラメーター 値
ATM 自動検出

IP 構成 - クラシカル IP

パラメーター 値
Interface 0
Type ATM
Slot 1
Port 1
IP Address 10.1.0.1
IP Subnet Mask Address 255.255.255.0
ARP Server 使用可能
Refresh 5 分
Auto-refresh 使用可能
ESI 4000 8210 0001
Selector 00
Maximum SDU Size 9188

注: パラメーター ESI および selector は、デフォルト 8210-003 構成で使用可能になっているクラシカル IP サーバーとクライアントの両方に対するものです。これらの値は、8210-003 をその ARP サーバーとして使用するようクラシカル IP ワークステーションを構成する場合に必要です。

エミュレート LAN 構成 - トークンリング

パラメーター 値
Name TRelan1
Device 0
LES/BUS ESI 4000 8210 0001
LES/BUS Selector 04
Policies (名前) TRelan1
Policies (タイプ) トークンリング

LEC インターフェース - トークンリング

パラメーター 値
Interface 1
MAC Address 4000 8210 0001
Name TRelan1

Type	トークンリング
Device	0
ESI	4000 8210 0001
Selector	02

IP 構成 - トークンリング LAN エミュレーション

パラメーター	値
Interface	1
LEC	TRelan1
IP Address	10.1.1.1
IP Subnet Mask	255.255.255.0

エミュレート LAN 構成 - イーサネット

パラメーター	値
Name	ETHelan1
Device	0
LES/BUS ESI	4000 8210 0002
LES/BUS Selector	04
Policies (名前)	ETHelan1
Policies (タイプ)	イーサネット

LEC インターフェース - イーサネット

パラメーター	値
Interface	2
MAC Address	4000 8210 0002
Name	ETHelan1
Type	イーサネット
Device	0
ESI	4000 8210 0002
Selector	02

IP 構成 - イーサネット LAN エミュレーション

パラメーター	値
Interface	2
LEC	ETHelan1
IP Address	10.1.2.1
IP Subnet Mask	255.255.255.0

SNMP コミュニティ

パラメーター	値
Name	公衆
Access Type	読み取り/書き込み

初期構成を実行する時期

新しい 8210-003 があるがデフォルト構成を使用したくない場合、8210-003 の構成を消去してしまった場合、あるいは構成を消去するような問題が発生している場合には、『初期 (クイック) 構成の実行』に記載されているステップを実行しないと、8210-003 はネットワーク内で作動できません。

現在構成 (例えば、デフォルト構成) をもっている場合には、以下のステップを実行すると、その構成を消去できます。

1. OPCON (アスタリスク (*)) 用のプロンプトから、**talk 6** と入力します。プロンプト Config> が表示されます。
2. **boot** と入力します。プロンプト Boot config> が表示されます。
3. 以下のコマンドを、この順番で入力します。
 - a. **clear all**
 - b. **clear device**
 - c. **exit**
 - d. **write**
4. 8210-003 をリブートします。

注: クイック構成プログラムでは、多数のデフォルトを想定しています。その中には、お客様の導入に適していないものもあります。したがって、以下のステップを行うようお勧めします。

1. クイック構成を使用して、部分的な構成だけを作成します。
2. **restart** コマンドを入力して 8210-003 を再始動します。
3. その他の構成方式 (コマンド行インターフェース、構成プログラム、または Web ブラウザー) のいずれかを使用して、TCP/IP ステーションから 8210-003 を完全に構成します。

初期 (クイック) 構成の実行

クイック構成プロセスを開始する前に、以下の注をお読みください。

- 大括弧 [] で囲まれている情報がデフォルトです。デフォルトを使用するためには、**Enter** を押します。デフォルト以外の値を使用するには、小括弧で囲まれている値の中から選択します。大括弧で囲まれている値がない場合には、デフォルト値はないので、ご自分で値を入力する必要があります。
- Config> または Config (only)> プロンプトからクイック構成を開始または再開するには、**qc** と入力して、**Enter** を押します。

- 現行のクイック構成セクションの初めに随時戻するためには、**r** と入力します。例えば、ブリッジング・セクションにいる場合には、**r** と入力してから **Enter** を押して、そのセクションの初めに戻ります。
- クイック構成を終了するには、**q** と入力して、**Enter** を押します。Config> プロンプトが表示されます。**qc** と入力してから、**Enter** を押します。
- 構成を完了したら、その構成が有効になるように、MSS サーバーを再始動する必要があります。そのオプションは、クイック構成プログラムの終了時に与えられます。

クイック構成プロセスを開始するには、次のように行います。

1. 第3章 MSS サーバーへのアクセス方法に記載されているとおりに、8210-003にアクセスします。8210-003 は、オペレーター・コンソール (OPCON) プロンプト (*) で応答します。
2. 8210-003 のインターフェース番号を設定します。
 - * プロンプトに **talk 6** と入力します。
 - Config > プロンプトに **add dev atm** と入力します。

```
* talk 6
Config>
Config> add dev atm
Device Slot #(1-2) [1]?
Adding CHARM ATM device in slot 1 port 1 as interface #0
Use "net 0" to configure CHARM ATM parameter
Config>
```

3. **net** コマンドを入力して、ATM アドレスを設定します。ATM アドレスは、ネットワーク管理者から提供されたものでなければなりません。

```
Config> net 0
ATM user configuration
ATM Config> exit
```

4. Config> プロンプトから **qconfig** または単純に **qc** と入力して、インターフェースおよびブリッジング・プロトコルとルーティング・プロトコルを構成するためにクイック構成プログラムを開始します。

```
Config> qc
```

クイック構成プログラムにより、一連のパネルが表示されます。

5. **Configure LAN Emulation: (LAN エミュレーションの構成)**

以下のように、構成プログラム・プラットフォームが使用するものにより、応答が異なります。

- a. LAN エミュレーションを使用して 8210-003 に到達する場合は、「Configure LAN Emulation (LAN エミュレーションの構成)」という質問に対して **Yes** と答え、LAN エミュレーション情報を提供して **Enter** を押してデフォルトを受け入れます。
- b. クラシカル IP を使用して 8210-003 に到達する場合は、「Configure LAN Emulation (LAN エミュレーションの構成)」という質問に対して **No** と答えます。

6. **Configure Bridging: (ブリッジングの構成)**

「Configure Bridging (ブリッジングの構成)」という質問に対して **No** と答えます。

7. **Configure Protocols: (プロトコルの構成)**

「Configure Protocols」という質問に対して **Yes** と答えます。

8. Configure IP: (IP の構成)

- a. 「Configure IP」という質問に対して **Yes** と答えます。
- b. 構成プラットフォームがクラシカル IP を使用して 8210-003 に到達する場合は、インターフェース 0 について「Configure IP on this interface (このインターフェース上での IP の構成)」という質問に対して **Yes** と答えてから、*IP Address* (IP アドレス) プロンプトに IP アドレスを入力し、*Address Mask* (アドレス・マスク) プロンプトに IP マスクを入力して、ARP サーバーの質問に適当に答えます。
- c. 構成プログラム・プラットフォームが LAN エミュレーションを使用して 8210-003 に到達する場合には、構成プログラムと通信するすべての LAN エミュレーション・インターフェースについての「Configure IP on this interface (このインターフェース上での IP 構成)」という質問に対して **Yes** と答え、構成プログラムと通信しないすべての LAN エミュレーション・インターフェースについての「Configure IP on this interface」という質問に **No** と答え、*IP Address* プロンプトに IP アドレスを入力し、さらに *Address Mask* プロンプトに IP マスクを入力します。
- d. 「Enable Dynamic Routing (動的ルーティングを使用可能にする)」という質問に **No** と答えます。
- e. 「Define Community (コミュニティの定義)」という質問に **Yes** と答えます。
- f. *read_write_trap* 質問には **Yes** と答えます。
- g. 構成プログラムが使用するコミュニティ名を入力します。
- h. 「Save this configuration (この構成の保管)」という質問に対して **Yes** と答えます。

9. Configure IPX, Booting, and Console Modem-Control: (IPX、ブート、およびコンソール・モデム制御の構成)

「Configure IPX (IPX の構成)」という質問に対して **No** と答えます。

10. Write Configuration: (書き込み構成)

「Write Configuration (書き込み構成)」質問に **Yes** と答えます。

11. Restart the 8210-003: (8210-003の再始動)

「Restart the 8210-003 (8210-003の再始動)」という質問に **Yes** と答えます。

12. 構成を保管します。

重要: 8210-003の構成が済んで、作動可能になったら、**必ず**、アクティブ構成ファイルのバックアップを取ってください。このファイルを保持しておくと、アクティブ構成が破壊された場合に、ネットワーク上で 8210-003 を再設定することができます。

アクティブ構成ファイルのバックアップは、そのファイルを取り出し、ワークステーション内に格納すると行われます。

13. 初期構成が完了したことをネットワーク管理者に通知します。

全機能構成

今行った初期構成手順により、ネットワークを介して 8210-003 にアクセスできるようになります。これで、ネットワーク管理者は、以下のどの方式を使用しても、モジュールの全機能構成を実行できます。

- 構成プログラム
- Web ブラウザー HTML インターフェース
- コマンド行インターフェース (OPCON)

構成プログラムは、以下の理由により、望ましい構成方式です。

- 該当する 8210-003 にアップロードするために、多数の構成ファイルのコピーをサーバー上で保持できるようにする。
- 構成パラメーターを動的に変更しない。このフィーチャーは、8210-003 構成への変更を制御する上で役立ちます。
- 他の方式よりも構成パラメーターの入力妥当性検査および相互検査をたくさん実行する。

コマンド行インターフェースと Web ブラウザー・インターフェースは、特定のパラメーターを動的に変更します。これらのインターフェースが作成するバイナリー・ファイルは、ワークステーションではなく、8210-003 上に保管されます。こういった特性から、これらのインターフェースは、8210-003 の構成を管理するのにさらに使いにくいものとなっています。ただし、これらのインターフェースを使用して 8210-003 の動作を監視することができますが、構成プログラムはできません。これらのインターフェースは、動的に変更できないパラメーターのいずれかを変更したい場合にも役立ちます。

構成の完了に必要な情報については、構成プログラム使用者の手引き、MSS サーバーインターフェース構成とソフトウェア 使用者の手引き、および MSS プロトコルの構成と監視解説書を参照してください。

付録A. 共通作業

この付録は、共通する 8210-003 導入、操作、および保守作業を扱う一連の質問と答について、それらの作業を実行する際のヒントが記載されている個所を示します。

コマンド行インターフェース

質問: コマンド行インターフェースにアクセスする方法 (操作コード) は?

答: ファームウェア・メニュー・システム (システム管理保守パネル) から、**F9** を押します。

コマンド行インターフェースについては、*MSS* サーバー インターフェース構成とソフトウェア 使用者の手引きで説明しています。

アクティブなハードウェア・インターフェースのリストの表示

質問: アクティブなハードウェア・インターフェースのリストの表示方法は?

答:

1. **talk 6** と入力し、**Enter** を 2 回押して Config> プロンプトを表示します。
2. **list dev** と入力します。
3. **Ctrl-p** と入力して、コマンド行インターフェースに戻ります。

インターフェースの作動可能状態の表示

質問: インターフェースの状態 (例えば、起動している、起動していない、使用不可である) の表示方法は?

答:

1. **talk 5** と入力し、**Enter** を 2 回押して + (監視) プロンプトを表示します。
2. **configuration** と入力します。
3. **Ctrl-p** と入力して、コマンド行インターフェースに戻ります。

接続の検査

質問: 与えられた IP アドレスがオンラインであるかどうかの検査方法は?

答:

1. **talk 5** と入力し、**Enter** を 2 回押して + プロンプトを表示します。
2. **protocol** と入力します。
3. **ip** と入力します。プロンプトが IP> に変わります。
4. **ping IP address value** (IP アドレス値) を入力します。**Enter** を押して、ping プロセスを停止します。
5. IP> プロンプトに **exit** と入力します。プロンプトが + に変わります。
6. **Ctrl-p** と入力して、コマンド行インターフェースに戻ります。

重要ソフトウェア・データの表示

質問: 重要ソフトウェア・データの表示方法は?

答:

1. * プロンプトで、**talk 6** と入力し、**Enter** を 2 回押します。Config> プロンプトが表示されます。
2. **boot** と入力します。
3. **describe** と入力します。重要ソフトウェア・データが表示されます。
4. **Ctrl-p** と入力して、コマンド行インターフェースに戻ります。

重要ハードウェア・データの表示

質問: 重要ハードウェア・データの表示方法は?

答:

1. ファームウェア・メインメニューにアクセスします。ブート中に、Prematurely terminate boot sequence (ブート・シーケンスを完了しないうちに終了) プロンプトで **F1** を押します。
2. **Utilities (ユーティリティー)** を選択します。
3. **View or Set Vital Product Data (重要プロダクト・データの表示または設定)** を選択します。
4. **Hardware Vital Product Data (ハードウェア重要プロダクト・データ)** を選択します。重要ハードウェア・データが表示されます。
5. ファームウェア・メインメニューに戻ります。
6. **F9** を押して、動作ソフトウェアをロードします。

クイック構成の実行

質問: クイック構成プログラムの実行方法は?

答: Config (only) プロンプトで、**qc** と入力します。

アダプターの追加

質問: 8210-003 の初期構成時にアダプターを追加する方法は?

答: 最初に、*MSS Server Service and Maintenance Manual*に記載されているとおりに、アダプターのハードウェア取り付けを実行します。次に、以下のことを行います。

1. コマンド行インターフェース (* プロンプト) にアクセスします。
2. **talk 6** と入力し、**Enter** を 2 回押して Config> プロンプトを表示します。
3. **add device type of device (装置のタイプ)** を入力します。
例えば、**add device atm** と入力します。
4. 装置スロット番号 (1-2) を入力します。
5. このポートに割り当てられているインターフェース番号とネット番号を書き留めます。

注: 上記ステップでは、インターフェースを作成するだけです。さらに **net** コマンドを使用して、そのインターフェースに固有な特性を設定する必要があります。また、**protocol** コマンドを使用して、インターフェース上にプロトコルを設定することも必要です。

初期構成後の、アダプターの追加

質問: 8210-003 が初期構成された後でアダプターを追加する方法は?

答: 最初に、*MSS Server Service and Maintenance Manual*に記載されているとおりに、アダプターのハードウェア取り付けを実行します。次に、以下のことを行います。

1. コマンド行インターフェース (* プロンプト) にアクセスします。
2. **talk 6** と入力し、**Enter** を 2 回押して Config> プロンプトを表示します。
3. **add device type of device** (装置のタイプ) を入力します。
例えば、**add device atm** とします。
次の 2 つのステップは、ダイヤル回線装置を追加する場合には適用されません。
4. 装置スロット番号 (1-2) を入力します。
5. このポートに割り当てられているインターフェース番号とネット番号を書き留めます。
6. **net net number** (ネット番号) を入力して、インターフェース固有の特性を設定できるようにします。
7. **write** と入力して、変更内容を保管します。
8. 8210-003 をリポートして、構成変更を有効にします。

この手順の詳細については、*MSS サーバー インターフェース構成とソフトウェア 使用者の手引き*を参照してください。

アダプター・ポートの使用不能化

質問: 構成済みアダプター・ポートを使用不能にする方法は?

答:

1. コマンド行インターフェース (* プロンプト) にアクセスします。
2. **talk 6** と入力し、**Enter** を 2 回押して Config> プロンプトを表示します。
3. **list device** と入力します。
4. 使用不能にしたいポートのインターフェース番号をメモします。
5. **disable interface interface number** (インターフェース番号) を入力します。
6. **write** と入力して、変更内容を保管します。
7. 8210-003 をリポートして、構成変更を有効にします。

この手順の詳細については、*MSS サーバー インターフェース構成とソフトウェア 使用者の手引き*を参照してください。

アダプター・ポートの使用可能化

質問: **disable interface** コマンド (29ページの『アダプター・ポートの使用不能化』に記載) を使用して使用不能になっている構成済みアダプター・ポートを使用可能にする方法は?

答:

1. コマンド行インターフェース (* プロンプト) にアクセスします。
2. **talk 6** と入力し、**Enter** を 2 回押して Config> プロンプトを表示します。
3. **list device** と入力します。
4. 使用可能にしたいポートのインターフェース番号をメモします。
5. **enable interface interface number** (インターフェース番号) を入力します。
6. **write** と入力して、変更内容を保管します。
7. 8210-003 をリポートして、構成変更を有効にします。

この手順の詳細については、MSS サーバー インターフェース構成とソフトウェア 使用者の手引きを参照してください。

トラフィックを中断するための、アダプター・ポートの使用不能化

質問: 構成済みアダプター・ポートを使用不能にしてトラフィックを中断する方法は?

答:

1. コマンド行インターフェース (* プロンプト) にアクセスします。
2. **talk 5** と入力し、**Enter** を 2 回押して + プロンプトを表示します。
3. **configuration** と入力します。
4. 使用不能にしたいポートのインターフェース番号をメモします。
5. **disable interface number** (インターフェース番号) を入力します。

トラフィックを再開するための、アダプター・ポートの使用可能化

質問: (『トラフィックを中断するための、アダプター・ポートの使用不能化』に記載されている **disable interface** コマンドを使用して使用不能になっている) 構成済みアダプター・ポートを使用可能にしてトラフィックを再開する方法は?

答:

1. コマンド行インターフェース (* プロンプト) にアクセスします。
2. **talk 5** と入力し、**Enter** を 2 回押して + プロンプトを表示します。
3. **configuration** と入力します。
4. 使用可能にしたいポートのインターフェース番号をメモします。
5. **test interface number** (インターフェース番号) を入力します。

注: 使用不能として構成されている (**talk 6** の節で説明してあります) インターフェースを **test** コマンドを使用して使用可能にした場合、次に 8210-003 をリポートすると、インターフェースは再度使用不能に

なります。したがって、次にリポートが行われたときにインターフェースが使用可能になるようにするには、**talk 6 enable interface** コマンドを使用してください。

この手順の詳細については、MSS サーバー インターフェース構成とソフトウェア 使用者の手引きを参照してください。

構成からのアダプターの削除

質問: 構成からのアダプターの削除方法は?

答:

1. コマンド行インターフェース (* プロンプト) にアクセスします。
2. **talk 6** と入力し、**Enter** を 2 回押して Config> プロンプトを表示します。
3. **list device** と入力します。
4. 紙に、削除したいアダプターのインターフェース番号を書き留めます。

注: マルチポート・アダプターを削除しようとする場合は、そのアダプター用に構成されているすべてのインターフェースのインターフェース番号を記録する必要があります。

5. **delete interface interface number** (インターフェース番号) を入力します。
6. Are you sure? (よろしいですか) プロンプトに、**y** と入力します。
7. **write** と入力して、変更内容を保管します。
8. 8210-003 をリポートして、構成変更を有効にします。

この手順の詳細については、MSS サーバー インターフェース構成とソフトウェア 使用者の手引きを参照してください。

最新の MSS サーバー情報

質問: 8210-003 に関する最新情報の検索方法は?

答: Web ブラウザーのあて先を次のアドレスにします。

<http://www.networking.ibm.com/820/820prod.html>

付録B. 特記事項

本書において、日本では発表されていないIBM製品（機械およびプログラム）、プログラミングまたはサービスについて言及または説明する場合があります。しかし、このことは、弊社がこのようなIBM製品、プログラミングまたはサービスを、日本で発表する意図があることを必ずしも示すものではありません。本書で、IBMライセンス・プログラムまたは他のIBM製品に言及している部分があっても、このことは当該プログラムまたは製品のみが使用可能であることを意味するものではありません。これらのプログラムまたは製品に代えて、IBMの知的所有権を侵害することのない機能的に同等な他社のプログラム、製品またはサービスを使用することができます。ただし、IBMによって明示的に指定されたものを除き、これらのプログラムまたは製品に関連する稼働の評価および検証はお客様の責任で行っていただきます。

IBMおよび他社は、本書で説明する主題に関する特許権（特許出願を含む）商標権、または著作権を所有している場合があります。本書は、これらの特許権、商標権、および著作権について、本書で明示されている場合を除き、実施権、使用権等を許諾することを意味するものではありません。実施権、使用権等の許諾については、下記の宛先に、書面にてご照会ください。

〒106-0032 東京都港区六本木3丁目2-31
AP事業所
IBM World Trade Asia Corporation
Intellectual Property Law & Licensing

本書のオンライン・バージョンのご使用条件

弊社は、お客様に対して以下のことを許諾します。

本媒体に収められた文書（IBM プログラムを除く。以下、「資料」という）をお客様の社内使用のために複製し、改変し、印刷することができます。ただし、資料のすべての複製物には、全文複製か部分複製かを問わず、著作権表示、すべての注意書きのほか必要な表示をそのまま複製するものとします。

上記の条件に違反があった場合は、本使用権は終了するものとします。この場合、お客様は、ただちに複製物のすべてを破棄し、本媒体を弊社に返却するものとします。

情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) 表示

電波障害自主規制 届出装置の記述

注意:

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI) の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

商標

以下に挙げる用語は、米国またはその他の諸国、あるいはその両方における IBM Corporation の商標です。

IBM	Nways	PowerPC (logo)
Library Reader	OS/2	PS/2

Microsoft、Windows、Windows NT、および Windows 95 ロゴは、Microsoft Corporation の商標または登録済み商標です。

その他の会社名、製品名、およびサービス名は、他社の商標またはサービス・マークです。

付録C. 安全に関する注意事項

安全上の注意

 危険：

導入作業を開始する前に、安全に関する小冊子 SD21-0030 の「最初にお読みください」(Read This First) の項をお読みください。この小冊子は、電気機器の安全な配線と接続の手順について説明しています。

電源の切断

 危険：

この装置の非常時の電源の切断は機械の背面にある電源入力コネクタで行います。従って、装置を設置する場合はこのコネクタへのアクセスに障害のないようにしてください。

バッテリーの交換

 危険：

『バッテリーの取扱いが正しくないと爆発の危険があります』

交換は製造者の勧める同一品または同等品だけを使ってください。
使用済みバッテリーの廃棄は製造者の説明どおりにしてください。

クラス 1 LED ステートメント

クラス 1 LED 製品

IEC 825-1:1993

クラス 1 レーザー・ステートメント

クラス 1 レーザー製品

IEC 825-1:1993

リチウム電池ステートメント

MSS サーバー プロセッサ・カードには、交換不能な組み込みリチウム電池を備えたクロック・モジュールが組み込まれています。このモジュールは、地域の条例に従って廃棄してください。

索引

日本語, 英字, 数字, 特殊文字の順に配列されています。なお, 濁音と半濁音は清音と同等に扱われています。

[ア行]

- アウト・オブ・バンド・アクセス 13
- アクセス方法, MSS サーバーへの
 - アウト・オブ・バンド 13
 - インバンド 13
- 概要 13
- 物理接続 17
- リモート接続 17
- アドレス
 - イーサネット 16, 23
 - ATM 23
 - SLIP 16
- 安全上の注意 35
- イーサネット
 - アドレス 16, 23
 - 10BASE-T ケーブル 16
- インターネット・パケット交換機能 (Internet Packet Exchange)、の設定 24
- インバンド・アクセス 13

[カ行]

- 管理、構成問題の 24, 25
- 共通作業 27
- 構成
 - 書き込み構成 24
 - 初期の
 - 問題 24
 - MSS サーバーのセットアップ 23
 - 全機能
 - 管理、問題の 25
 - MSS サーバーのセットアップ 25
 - バックアップ 24, 25
 - 問題 24, 25
 - IP 24
 - IPX 24
 - SLIP 16
- 構成のバックアップ 24, 25
- 構成プログラム (構成方式の 1 つ) 25
- 高速構成
 - 書き込み構成 24
 - ブリッジング 23
 - プロトコル構成 23
 - IP 24

- 高速構成 (続き)
 - IPX 24
 - LAN エミュレーション 23
- コマンド行インターフェース (構成方式の 1 つ) 25
- コンソール・アクセス
 - リモート 15
 - ローカル 15

[サ行]

- 再始動, MSS サーバーの 22, 23, 24
- 接続方式 13
 - ATM ネットワーク 17
 - SLIP 16
 - TTY 13
- セットアップ
 - 構成 23
 - MSS サーバー 23

[タ行]

- デフォルト構成 9, 19
- デフォルト設定
 - シリアル・ポート 15
 - データ/ファックス PCMCIA モデム 15
 - MSS サーバー 19
- 導入
 - MSS サーバー 1
 - PCMCIA 装置 7

[ハ行]

- ハードウェア、の接続方式 13
- パラメーター、デフォルト構成 19
- ファックスのデフォルト設定 15
- 物理アクセス, MSS サーバーへの 17
- ブリッジング
 - 構成、一般的な 23
 - 設定、高速構成の 23
- プロトコル
 - 構成 23
 - 高速構成 23
- ポートのデフォルト設定 15

[マ行]

- モデム 15
- 問題
 - 構成 24, 25
 - LED 11

問題解決 11

[ラ行]

リモート接続 13, 15, 17

ローカル接続 13, 15

A

ATM (非同期トランスポート・プロトコル)

アドレス 23

I

IP (インターネット・プロトコル)、の設定 24

L

LAN エミュレーション

設定、高速構成の 23

デフォルト構成 19

M

MSS サーバー

アクセス方法

アウト・オブ・バンド 13

インバンド 13

資料 2

セットアップ 23

導入 1

ハードウェア 2

問題解決 11

MSS サーバーへの接続 13

O

OPCON (オペレーター・コンソール・プログラム) 25

P

PCMCIA モデム 15

S

SLIP

アドレス 16

構成 16

T

TTY (テレタイプ) 接続 13

38 8210 MSS サーバー 初期導入の手引き

W

Web ブラウザー (構成方式の 1 つ) 25



Printed in Japan

GA88-6547-00



日本アイ・ビー・エム株式会社
〒106-8711 東京都港区六本木3-2-12